



The Japanese Teratology Society

The 49th Annual Meeting of  
the Japanese Teratology Society

第49回

# 日本先天異常学会 学術集会

in KAGOSHIMA

テーマ 原点：先天異常と遺伝子

会期 ◆ 2009年 6月25日(木)～27日(土)

会場 ◆ 鹿児島市民文化ホール

会長 ◆ 大島 洋次郎 (株)新日本科学 安全性研究所



The 49th Annual Meeting of  
the Japanese Teratology Society

---

第49回

# 日本先天異常学会 学術集会

---

in KAGOSHIMA



原点：先天異常と遺伝子

会期 ◆ 2009年 6月25日(木)～27日(土)

会場 ◆ 鹿児島市民文化ホール

会期中連絡先：鹿児島市民文化ホール

〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目3-1  
Tel:099-257-8111 Fax:099-251-4053

学術集會事務局：株式会社 新日本科学 安全性研究所

Tel:099-294-2600 Fax:099-294-3619  
E-mail : 49th-jts@snbl.co.jp

懇親会会場：エトワール 鹿児島サンロイヤルホテル1F

Tel:099-253-2020

# INDEX

ご挨拶	1
学術集会行事のご案内	2
交通のご案内	3
学術集会会場図	4
参加者へのご案内	5
座長、講師および演者へのご案内	6
学術集会日程表	7
日本先天異常学会 第9回生殖発生毒性専門家教育講習会	10

---

プログラム	11
特別講演	13
教育講演	13
教育シンポジウム	13
ワークショップ	14
DNT講演	14
シンポジウム1	14
シンポジウム2(小児遺伝学会とのミニ共催)	15
ミニシンポジウム1	15
ミニシンポジウム2	15
トピックス	16
受賞講演	16
ランチョンセミナー	16
一般演題(ポスター)	17

---

抄録	25
特別講演	27
教育講演	28
教育シンポジウム	29
ワークショップ	32
DNT講演	33
シンポジウム1	34
シンポジウム2(小児遺伝学会とのミニ共催)	38
ミニシンポジウム1	42
ミニシンポジウム2	44
トピックス	47
受賞講演	49
ランチョンセミナー	51
一般演題(ポスター)	52

---

著者索引	89
日本先天異常学会学術集会 歴代会長名および開催地	94
協賛企業	95

# ご 挨拶

第49回日本先天異常学会学術集会 会長

大島洋次郎 (株)新日本科学 安全性研究所

第49回日本先天異常学会学術集会を開催するにあたり、歓迎のご挨拶を申し上げます。

近年、先天異常学の領域におきましても、遺伝子との関連についての研究が盛んに行われ、正常発生と遺伝子発現や先天異常とその原因遺伝子などの関連が明らかになりつつあります。

本学術集会では、ヒト疾患とその責任遺伝子、マウスの先天異常分野における活用法、iPS細胞やES細胞など幹細胞の活用に関わるトピックス、トキシコゲノミックスに関する話題などについて企画いたしました。また、ここ数年学会で継続して取り上げています器官毎のシンポジウムでは、今回は心・血管系の異常について、発生、催奇形性、遺伝子治療、臨床での現状など基礎から臨床までの話題を計画しています。また、Dysmorphologyに関する小児遺伝学会との共催の話題も企画しました。継続課題である「汎用薬の催奇形性を考える(2)」に関する話題では、今回は甲状腺疾患・糖尿病・気管支喘息治療での薬剤の選択に関するテーマで講演されます。更に、日米欧の3極で進めている実験動物の先天異常用語の話題提供及びその成果の展示などを計画しております。

本学会は、医学系の臨床・基礎の研究者に加え、獣医、毒性に関与している研究者が参加する発表・討論の場であり、昨年からは薬剤師の方も参加される様になりました。上述の様に基礎から臨床に係わる話題を準備致しましたので、異なる分野の研究者と有意義な議論ができる、また、皆さんが来てよかったと思える学術集会にしたいと考えております。従いまして、一般演題は全てポスター発表と致しました。参加者の方々がご自身の研究と関連する発表、また、興味を持たれている発表について十分にご討議していただければと期待致しております。

本学術集会は木曜から土曜日の開催ですので、よく学び、よく楽しめる学会になる様準備を進めてまいりました。多くの方のご参加、発表及び討論をお待ちしております。

# 学術集会行事のご案内

## 1. 学術集会

6月25日(困) 13:00～18:30

6月26日(金) 9:00～18:00

6月27日(土) 9:00～12:20

A会場：第2ホール(2階)、各種講演

ポスター会場：市民ホール(4階)、ポスター発表

第1会議室(5階)、各種委員会

第2会議室(5階)、生殖発生毒性専門家教育講習会

## 2. 懇親会

6月26日(金) 18:30～20:30 サンロイヤルホテル1階 エトワール  
(TEL: 099-253-2020)

## 3. 総会

6月26日(金) 13:00～14:00 A会場(第2ホール)

## 4. 学術奨励受賞者発表会

6月26日(金) 14:05～14:50 A会場(第2ホール)

## 5. 理事会

6月24日(困) 18:00～20:30 中原別荘(TEL: 099-225-2800)

## 6. 評議員会

6月26日(金) 12:00～12:50 サンロイヤルホテル2階 高隈  
(TEL: 099-253-2020)

## 7. 各種委員会開催日時

第1会議室(5階)

教育委員会 6月25日(困) 10:00～11:00

将来計画検討委員会 6月25日(困) 11:00～12:00

Congenital Anomalies 編集委員会 6月25日(困) 12:00～13:00

DNT 委員会 6月25日(困) 講演終了後

プログラム委員会 6月26日(金) 9:00～10:00

## 8. 生殖発生毒性専門家教育講習会 第2会議室(5階)

6月25日(困) 9:00～12:15

6月27日(土) 13:00～14:40

## 交通のご案内



### 交通アクセス

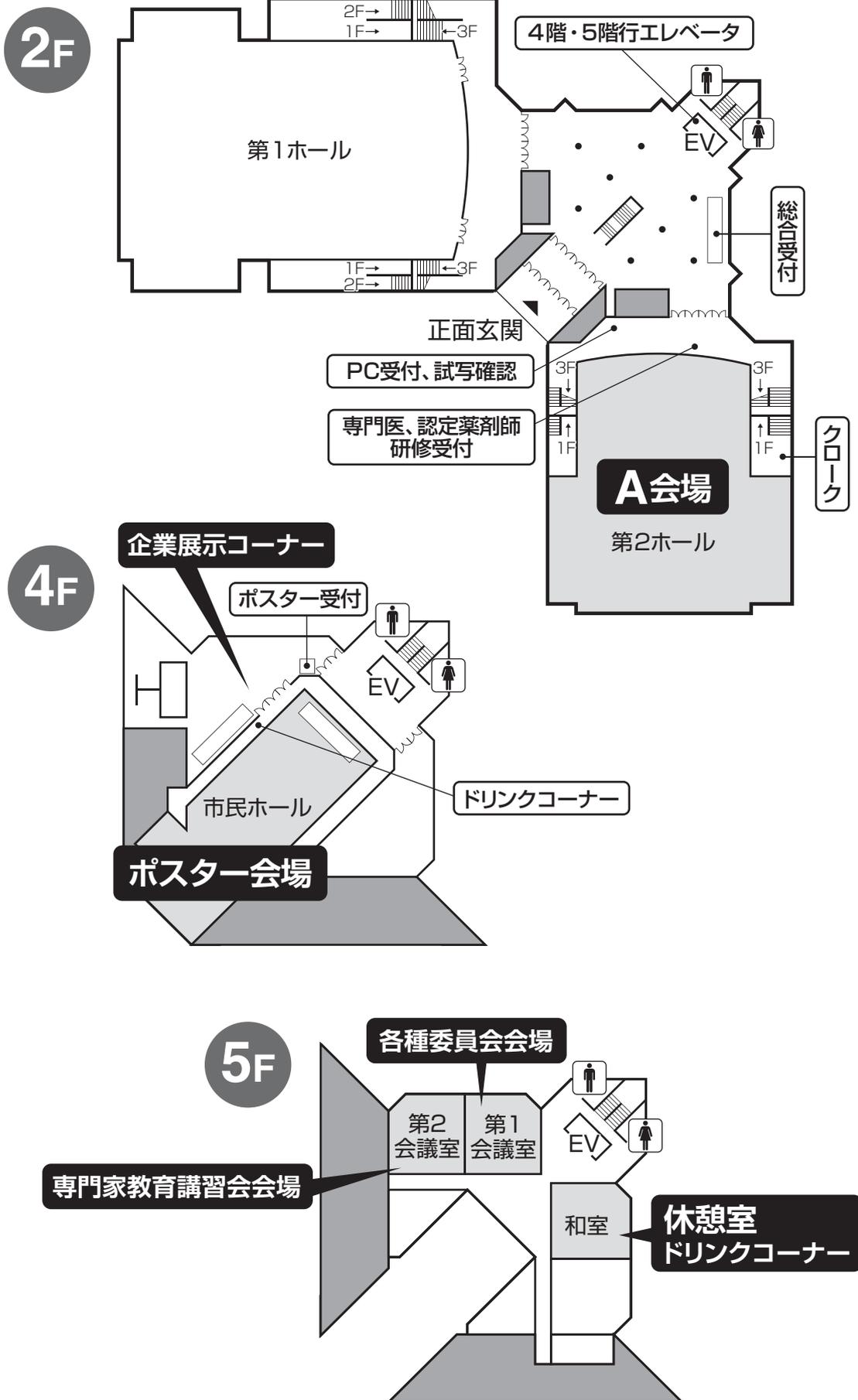
#### 空港から

- **空港バス**……南国バス、いわさきバス 鴨池港行き乗車  
与次郎一丁目 下車（直行で約40分）、徒歩約5分

#### 鹿児島中央駅あるいは天文館から

- **タクシー**……約10分
- **バス**（所要時間約30分）：市民文化ホール前 下車
  - ・鹿児島中央駅から  
16-2番線、27番線、32-1番線
  - ・天文館から  
16番線、16-2番線、32-1番線
- **駐車場（有料） 371台**  
駐車台数には限りがございます。  
なるべく公共交通機関を御利用いただきますようお願い申し上げます。

# 学術集会会場図（鹿児島市民文化ホール）



# 参加者へのご案内

## 1. 総合受付および参加登録

総合受付は鹿児島市民文化ホール 2階エントランスロビーにて6月25日11:00より行います。

事前登録されている方はこの抄録集に同封の参加証に氏名・所属を明記し、ご持参着用して下さい。宿泊ホテルアンケート調査表は切り離し、総合案内にご提出ください。カードケースは調査表と引き換えにお渡し致します。

当日参加の方は、当日参加費15,000円(学生5,000円)をお支払いのうえ、参加証及び抄録をお受け取り下さい。カードケースは宿泊ホテルアンケート調査表と引き換えに総合案内でお渡し致します。

市民文化ホールには一般の方もいますので、会期中は必ず参加証を着用して下さい。

## 2. クローク

学術集会期間中、第2ホール(A会場)入り口横の階段下に設置致しましたクロークをご利用下さい。貴重品、傘や破損しやすいものを預けないで下さい。懇親会会場ではサンロイヤルホテルのクロークをご利用下さい。

## 3. 休憩所(学術集会期間中設置)

5階の和室あるいはポスター会場(4階市民ホール)横の休憩所をご利用下さい。飲物のサービスがございます。6月25日午後から6月27日午前中設置致します。

## 4. 懇親会

6月26日(金)18:30~20:30 サンロイヤルホテル1階のエトワールにて開催致します。どうぞ奮ってご参加下さい。会費は5,000円となりますので受付でお申込下さい(会場までの案内図はエントランスロビーに設置致します)。

## 5. 会場内呼び出し

原則として会場内での呼び出しは行いません。受付近くに会員連絡板を用意致しますのでご利用下さい。

## 6. 本学術集会は、日本小児科学会、日本形成外科学会、日本産科婦人科学会、日本整形外科学会、日本小児外科学会、日本周産期・新生児医学会の専門医、および臨床遺伝専門医、研修認定薬剤師の教育研修会としての登録がされております。これらの単位申請につきましては受付にてお申し込み下さい。

## 7. 学術集会期間中に市民文化ホール(第1ホール)にて他の催し物も開催される予定ですので、ご配慮の程宜しくお願い致します。また、一般の方々との区別を明確にしたいと存じますので、参加証は必ずご着用下さい。

# 座長、講師および演者へのご案内

## 1. 座長の先生方へ

- 担当セッション開始30分前までに、座長受付にお越し下さい。
- 担当セッション開始10分前までに、会場前方の次座長席でご待機下さい。
- 発表時間、質疑応答時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願い致します。
- 講師の先生方と打ち合わせが必要な場合はお申し出下さい。打ち合わせ室を準備致します。

## 2. 特別講演、教育講演、受賞講演、シンポジウム講師の先生方へ

- 本大会の発表は、PCプレゼンテーションに限らせていただきます。
- 発表時の操作は演壇上のPC画面を見ながら、ご自身でマウスを操作して画面を進めていただきます。
- WindowsXPが動作し、外部モニター出力端子を備えたPCを使用して下さい。
- 発表開始60分前までにPC受付にてPCを試写し、発表開始30分前までに会場内の前方に待機しておりますPCオペレーターにPCをお渡し下さい。
- ご講演の発表時間厳守をお願い致します。座長の指示に従って下さい。
- 発表データの配色については、色盲・色弱の参加者へのご配慮をお願いいたします。

## 2. ポスター発表の先生方へ

- ポスター発表は市民ホール(4階ポスター会場)にて行います。
- 25日(木)14:30までに展示して下さい。撤去は27日(土)12:00から13:00の間をお願い致します。13:00に残っている展示物は事務局の方で処分致します。
- 展示発表1演題につき幅90cm、高さ180cmのパネルを準備致します。
- 事務局ではパネル左上部の演題番号(20cm×20cm)、発表者用リボン及び画鋏を準備致します。
- 演題名、所属、氏名を幅70cm×高さ20cm以内の用紙に記載したものを準備し、演題番号横に展示してください。
- ポスター前でのプレゼンテーション時間は設定致しません。自由討論と致します。
- ポスター発表会場前に掲示しております討論時間(6月26日16:30～17:15:奇数演題、17:15～18:00:偶数演題)には、発表者は胸にリボンを着用し、必ずポスターの横にいて下さい。

## 4. 英文抄録について

- ご発表頂きます全てのご演題は英文抄録をご提出いただくことになっております。学術集会当日に英文抄録を「英文抄録受付」にご提出下さい。
- また e-mail 原稿も発表当日までに編集部宛にお送り下さい。詳しくは学術集会ホームページ「演題登録」内の「英文抄録について」をご参照下さい。

# 学術集会日程表 第1日目 6月25日(木)

	A 会場 (第2ホール 2階)	ポスター会場(市民ホール 4階)	市民ホール 4階西	第1会議室 5階
9:00		9:00~12:15		
9:30				
10:00		生殖発生毒性専門家 教育講習会 (5階 第2会議室)		10:00~ 11:00 <b>教育 委員会</b>
11:00	11:00~  <b>学術集会受付</b> (ロビー)		11:00~13:00  <b>企業展示 準備</b>	11:00~ 12:00 <b>将来計画 検討 委員会</b>
12:00				12:00~ 13:00 <b>Congenital Anomalies 編集委員会</b>
13:00	13:00~13:10 <b>開会式</b> 13:10~14:25 <b>ワークショップ</b> <b>実験動物における先天異常分類と用語</b> <b>— 3極の統一 —</b> 座長：藤原 道夫 堀本 政夫	13:00~14:30  <b>ポスター準備</b>	13:00~	
14:00			<b>企業展示</b>	
15:00	14:30~15:20 <b>DNT講演</b> <b>サル類の行動を指標とした胎生期化学物質 曝露による神経発達毒性の評価</b> 根岸 隆之 座長：青山 博昭	14:30~  <b>ポスター展示</b>		
16:00	15:30~16:20 <b>特別講演</b> <b>ヒト疾患と遺伝子：臨床診断と責任遺伝子</b> 成富 研二、要 匡 座長：大谷 浩			
17:00	16:30~17:20 <b>ミニシンポジウム1</b> <b>毒性予測 —トキシコゲノミクス</b> 座長：藤原 道夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Percellome 手法を用いた発生毒性に関わる 遺伝子発現変動解析 北嶋 聡</li> <li>2. 形態形成にかかわる遺伝子カスケード研究の進歩 大谷 浩</li> </ul>		
18:00	17:30~18:30 <b>トピックス</b> <b>iPS 細胞を含めた幹細胞の活用</b> 座長：小崎健次郎 山田 源	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 分化多能性を規定する転写因子ネットワークの 基本構造 丹羽 仁史</li> <li>2. ES・iPS 細胞から消化器官細胞への分化誘導研究 糸 昭苑</li> </ul>		
18:30				講演終了後 <b>DNT 委員会</b>

第2日目 6月26日(金)

	A 会場 (第2ホール 2階)	ポスター会場(市民ホール 4階)	市民ホール 4階西	第1会議室 5階
9:00	9:00~10:50 <b>シンポジウム1</b> <b>心・血管系異常</b>	9:00~	9:00~	9:00~ 10:00
9:30	1. 心臓形成領域の発生と心奇形 中島 裕司 2. 医薬品開発における実験動物を用いた胎児心大血管系の形態学的観察とその評価 千原 和弘	ポスター展示	企業展示	プログラム委員会
10:00	3. ヒト ES 細胞と遺伝子治療 小賤健一郎 4. 胎児から成人へ、縦に広がる先天性心疾患の臨床～単心室疾患を例に考える～ 西島 信 座長：中島 裕司、船橋 斎			
11:00	11:00~11:50 <b>教育講演</b> <b>先天異常分野におけるマウスリソースの活用法</b> 吉木 淳 座長：成瀬 一郎	12:00~12:50 <b>評議員会</b> (サンロイヤルホテル2階 高隈)		
12:00	12:10~12:50 <b>ランチョンセミナー</b> <b>発生毒性試験でみられる変異、小奇形とその意義</b> 安田 峯生 座長：有馬 昭宏			
13:00	13:00~14:00 <b>総 会</b>	16:30~17:15 <b>ポスター討論</b> 奇数演題		
14:00	14:05~14:50 <b>受賞講演</b> 座長：山野 恒一 1. ラット妊娠期における非コプラナー型ポリ塩化ビフェニル(PCB153)の発生内分泌系におよぼす影響 小林 健一 2. 大脳皮質形成におけるヘッジホッグシグナルの役割 駒田 致和			
15:00	15:00~16:30 <b>シンポジウム2</b> <b>Dysmorphology：発生生物学・人類遺伝学・先天異常診断学の積集合</b> (小児遺伝学会とのミニ共催) 座長：黒澤 健司 小崎健次郎	17:15~18:00 <b>ポスター討論</b> 偶数演題		
17:00	1. Dysmorphology とは 黒澤 健司 2. 小奇形の診方・考え方：アートとしての診断学 水野 誠司 3. 発生生物学からみた Dysmorphology ~形態形成と遺伝子発現調節~ 才津 浩智 4. 人類遺伝学からみた Syndromology 小崎健次郎			
18:00	18:30~20:30 <b>懇 親 会</b> (サンロイヤルホテル1階 エトワール)			

第3日目 6月27日(土)

	A 会場 (第2ホール 2階)	ポスター会場(市民ホール 4階)	市民ホール 4階西	
9:00	<p>9:00～10:50 <b>教育シンポジウム</b></p> <p><b>汎用薬の催奇形性を考える(2)</b></p> <p>1. 甲状腺疾患合併妊娠のマネージメントと先天異常 荒田 尚子</p> <p>2. 糖尿病妊婦管理と先天奇形 穴澤 園子</p> <p>3. 気管支喘息合併妊娠の薬物療法と先天異常 山根 律子</p> <p>座長：林 昌洋、松本 清</p>	<p>9:00～12:00</p> <p><b>ポスター展示</b></p>	9:00～11:00	
9:30			<p>11:00～12:20</p> <p><b>ミニシンポジウム2</b></p> <p><b>先天異常にかかわる薬務行政における最近の話題</b></p> <p>座長：江馬 眞</p>	11:00～12:00
10:00				<p><b>企業展示</b></p>
11:00	<p>12:20～12:30 <b>閉会式</b></p>	<p>12:00～13:00</p> <p><b>ポスター撤去</b></p>		
12:00	<p>1. サリドマイド製剤の市販後安全管理システムについて 森 和彦</p> <p>2. ICH の最近の生殖発生毒性に関する話題(1) 雌受胎能試験に関する共同研究成果 三分一所厚司</p> <p>3. ICH の最近の生殖発生毒性に関する話題(2) ICH-M3(R2)における生殖発生毒性試験 実施時期について 岡橋 典子</p>			<p>13:00～14:40</p> <p><b>生殖発生毒性専門家 教育講習会</b> (5階 第2会議室)</p>
13:00				
14:00				
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				
18:30				





The 49<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Teratology Society

# プログラム

# プログラム

**特別講演** 6月25日(土) 15:30～16:20

A会場(第2ホール)

座長：大谷 浩 島根大学医学部 解剖学講座

## SL ヒト疾患と遺伝子：臨床診断と責任遺伝子

成富 研二、要 匡 琉球大学医学部 医科遺伝学分野

**教育講演** 6月26日(日) 11:00～11:50

A会場(第2ホール)

座長：成瀬 一郎 鳥取大学医学部 保健学科 生体制御学講座

## PL 先天異常分野におけるマウスリソースの活用法

吉木 淳 理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室

**教育シンポジウム** 6月27日(日) 9:00～10:50

A会場(第2ホール)

## ES 汎用薬の催奇形性を考える(2)

座長：林 昌洋 虎の門病院 薬剤部

松本 清 武田薬品工業株式会社 開発研究センター

### ES-1 甲状腺疾患合併妊娠のマネージメントと先天異常

荒田 尚子 国立成育医療センター 周産期診療部 母性内科

### ES-2 糖尿病妊婦管理と先天奇形

穴澤 園子 東京都済生会中央病院 内科

### ES-3 気管支喘息合併妊娠の薬物療法と先天異常

山根 律子 虎の門病院 薬剤部 医薬情報科

## WS 実験動物における先天異常分類と用語 — 3極の統一 —

座長：藤原 道夫 アステラス製薬株式会社 安全性研究所  
堀本 政夫 千葉科学大学薬学部 動物生命薬科学科

三極用語統一ワーキンググループの活動について	塩田 浩平
国内用語統一ワーキンググループの活動について	藤原 道夫
外表用語	和泉 裕子
内臓用語	千原 和弘
骨格用語	加藤 康子
日本語表記における問題点、対処	安田 峯生

DNT 講演 6月25日(金) 14:30～15:20

A会場(第2ホール)

座長：青山 博昭 残留農薬研究所

## DNT サル類の行動を指標とした胎生期化学物質曝露による神経発達毒性の評価

根岸 隆之 青山学院大学理工学部 化学・生命科学科

シンポジウム1 6月26日(土) 9:00～10:50

A会場(第2ホール)

## S1 心・血管系異常

座長：中島 裕司 大阪市立大学大学院医学研究科  
船橋 齋 大日本住友製薬株式会社 安全性研究所

### S1-1 心臓形成領域の発生と心奇形

中島 裕司 大阪市立大学大学院医学研究科 器官構築形態学

### S1-2 医薬品開発における実験動物を用いた胎児心大血管系の形態学的観察とその評価

千原 和弘 大日本住友製薬株式会社 安全性研究所

### S1-3 ヒト ES 細胞と遺伝子治療

小賤健一郎 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野

### S1-4 胎児から成人へ、縦に広がる先天性心疾患の臨床 ～単心室疾患を例に考える～

西島 信 総合病院鹿児島生協病院 小児科



The 49<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Teratology Society

# 抄 録

成富 研二、要 匡 琉球大学医学部 医科遺伝学分野

近年急速にヒト疾患の遺伝子解明がすすみ、約2,600種の疾患で責任遺伝子が証明されている。奇形に限定すると約600種の疾患で約350種の責任遺伝子が判明している。しかし、奇形症候群はその種類が多く珍しい疾患が多いため、診察した経験がなければ診断に苦慮することが多い。診断候補や鑑別診断を絞り込めなければ、これらの分子遺伝学的情報を遺伝医療に活用することはできない。

演者は、臨床遺伝専門医の診断補助用として、1992年よりデータベース UR-DBMS を公開しはじめ、2003年からはソフトウェア Syndrome Finder を継続して公開している。UR-DBMS 第7版は、約7,500の遺伝性疾患とそれに関連する遺伝子の情報を収載している。データの内容は、遺伝形式、症状、遺伝子座、変異遺伝子単離の有無、OMIM やその他の成書から引用したノート、文献、抄録などで、臨床症状記載に最も尽力している。UR-DBMS は、複数のファイルからなり、合計約8GBである。データは「ファイルメーカー」に収められており、検索もれをなくすために独自に考案した症状コードを使って検索するのが特徴である。

Syndrome Finder は、患者の全症状から、最も可能性のある診断候補を選択することを目的に作成したソフトウェアである。全体的な一致率をみる検索と、指定した必須症状をもたない疾患は除外する検索の両方が可能である。UR-DBMS と連動しているので、候補疾患の情報を直ちに参照することができる。

責任遺伝子は、神経筋疾患、先天代謝異常、奇形症候群・単独奇形、血液／腫瘍性疾患、免疫疾患、眼科疾患、内分泌疾患、心血管疾患、皮膚科疾患、耳鼻科疾患などで、合計約2,300種の遺伝子が報告されており、最新の病名を含め UR-DBMS で参照できる。しかし、実際の問題は、遺伝子診断を行える施設が日本では限定されている点である。

演者らは、これまで新川教授を中心とする国内コンソーシアム研究により染色体異常をもつ疾患から複数の疾患で責任遺伝子を解明してきた。ここでは、要匡が中心になって行った Opitz C 症候群での責任遺伝子 CD96 の解明とその後の研究成果について供覧する。

吉木 淳 理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室

マウスは多種多様な近交系が樹立されており、ゲノム配列情報、完全長 cDNA ライブラリー、個体レベルの遺伝子操作法、ES 及び iPS 細胞株の樹立、胚・精子の凍結保存等、実験動物として優れた条件が揃っており、遺伝子機能の解明をはじめとするライフサイエンス研究において最も重要なモデル動物として位置付けられています。欧米では国家規模の網羅的遺伝子ノックアウトマウスの開発が進行しており、国として戦略的に整備すべきバイオリソースと考えられています。日本では先天異常分野、発生・再生、癌、免疫・アレルギー、脳、生活習慣病等の研究分野でマウスを用いた優れた研究が行われてきました。理研バイオリソースセンター(BRC)は平成14年度より文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトのマウス中核機関として、我が国で開発されたヒト疾患や遺伝子機能解析のモデルマウスを中心に収集・保存・品質管理・提供を実施しています。研究コミュニティからの多大な支援を受け、これまでに3,800系統のマウスリソースを収集しました。先天異常分野では近交系、自然突然変異系統、リコンビナント近交系、遺伝子操作系統、化学変異原 ENU 誘発ミュータント等を用いて、毒性試験や形成異常の分子機構の研究が行われてきました。最近では時空間を考慮した遺伝子操作による精緻な解析手法により形体形成に関わる分子カスケードが明らかにされつつあります。こうした研究に用いるマウスの遺伝品質と微生物品質は精度の高い解析結果を得るために必須の条件です。寄託されたマウス系統はすべて帝王切開または胚移植により清浄化(SPF化)を施し、厳格な微生物学的検査及び統御、ならびに、操作された遺伝子と遺伝背景の的確な検査を実施し、正確な特性情報を付加することにより、高品質なマウスを整備して動物実験の精度向上に貢献しています。収集と提供にあたっては開発者の知財権を保護しつつ、国内外の研究コミュニティに利用促進をはかっています。理研 BRC は Federation of International Mouse Resources (FIMRe) 及び Asian Mouse Mutagenesis & Resource Association (AMMRA) の設立メンバーとして国際連携をはかっています。国内では国立大学法人動物実験施設協議会の会員としてそのネットワークを活用してマウスリソースの普及を推進し、ライフサイエンス研究の発展に貢献したいと考えています。利用者の皆様のご利用をお待ち申し上げます。

# 著者索引

(五十音順・太字=筆頭演者)

Brittney Barboza	P-73	穴澤 園子	ES-2	今井 統隆	P-74
Herrin Sarah	P-56	阿彦 希	P-11	今田 有美	P-23
Jahan Esrat	P-27	阿部 康弘	P-55	井村 英人	P-1
James Klaassen	P-56 P-73	天笠 光雄	P-50	岩澤 有希	P-13
Li Zhaoyang	P-56	荒田 尚子	ES-1	う	
Lin Patricia	P-56	有馬 昭宏	P-39 P-47 P-60 P-72	上田 悦子	P-35
Naline Lalayeva	P-73	い		宇田川 潤	P-32 P-53
Ngyuyen Van Oanh	P-1	池田千詠子	P-61	上部千賀子	P-20 P-22
Norbert Makori	P-56 P-73	池田 裕子	P-29	え	
Parker Suezanne	P-56	池見 直起	P-51	榎原 周平	P-61
Polack Evelyne	P-56	石垣 景子	P-9	海老澤有紀	P-2
Russell Eyre	P-73	石切山 敏	P-14	遠藤 貴子	P-71
Ryoichi Nagata	P-73	石倉 寿一	P-71	お	
Satoru Oneda	P-56 P-73	石塚 典子	P-62 P-63 P-64 P-65	大澤眞木子	P-7 P-9
Stagray Matt	P-56	石橋 誠	P-25	大島洋次郎	P-39 P-60 P-72
Steven Meyer	P-56 P-73	和泉 宏幸	P-68 P-69	太田 健一	P-43 P-46
Takashi Matsuyama	P-73	井関 祥子	P-50	大田 泰史	P-51 P-70
あ		伊藤 浩太	P-31	大谷 勝己	P-57
青山 博昭	P-24 P-28 P-29	伊藤 伸	P-58	大谷 浩	MS1-2 P-19 P-27 P-32 P-38 P-49 P-53
秋田 正治	P-62 P-63 P-64 P-65 P-66	伊藤 徳夫	P-55	大塚 絵麻	P-71
秋谷 文	P-8 P-4 P-16	伊藤みのり	P-52	大塚 亮一	P-29
揚野真由子	P-60	伊東 幸恵	P-31	大橋 博文	P-7
浅野 裕三	P-26 P-71	稲若 邦文	P-54		
		井上 歩美	P-60		
		井上 隆之	P-49		
		伊原 敏夫	P-47		
		今井 薫	P-9		

岡井いくよ	P-18 P-17
岡田 晃宜	P-41 P-58
岡田 利也	P-30
岡橋 典子	MS2-3
岡村絵里花	P-11
岡山 純郎	P-72
小川 順子	P-26
小川 哲郎	P-44 P-45
小川 昌宣	P-10
荻野 利彦	P-5
奥田 裕計	P-67
奥原 滋	P-50
奥村 宗平	P-31
小栗 泉	P-14
尾崎 清和	P-28
小野 篤輝	P-27
小野田訓子	P-36

## か

影山 葉月	P-14
籠橋有紀子	P-19
柏 英雄	P-5
片桐 龍一	P-74
勝亦 芳裕	P-26
加藤 啓子	P-30
加藤 寛人	P-39
要 匡	SL P-23
金田 昌博	P-24 P-29
金高友妃子	P-13
兼藤 雅子	P-34
鎌田 亮	P-71

亀井 良政	P-13
萱室 裕之	P-55
河合 裕一	P-55
川上 康彦	P-52
川島 邦夫	P-51 P-68 P-69 P-70
川端 正清	P-2
川村 聡	P-54
河村 佳徳	P-59
河本 舞	P-53
菅野 純	MS1-1

## き

喜久里育也	P-23
菊地 憲明	P-5
北川 浩	P-34
北嶋 聡	MS1-1
木下 典子	P-6
木下 勝之	P-2
木原 隆英	P-19
木村 栄介	P-69
木村 夕希	P-31

## <

日下部 健	P-30
久保田俊一郎	P-39 P-47
久保田登志子	P-14
久保田久代	P-57
庫本 高志	P-26
黒澤 健司	S2-1
桑形麻樹子	P-45 P-44
糸 昭苑	TOP-3

## こ

上妻 志郎	P-13
鴻池 紗耶	P-5
小賤健一郎	S1-3
小坂真一郎	P-72
小崎健次郎	S2-4
児島 忠雄	P-15
小島 陽介	P-37
巨瀬 勝美	P-22
兒玉 真実	P-35
小西 啓悦	P-19
小林 健一	AL-1 P-57
駒田 致和	AL-1 P-40
近藤 厚生	P-17 P-18
近藤 友宏	P-30

## さ

才津 浩智	S2-3 P-25
斉藤 賢一	P-52
斉藤 義明	P-36 P-42
坂井 祐子	P-58
坂田ひろみ	P-46 P-48 P-74
佐竹 寛史	P-5
佐藤 旭	P-29 P-24
佐藤 孝道	P-4 P-8 P-16
佐藤 友紀	P-23
鮫島 梨香	P-60
澤田 和彦	P-74

三分一所厚司	MS2-2
<b>し</b>	
塩田 浩平	WS-1 P-20 P-21 P-22 P-25
塩田 恭子	P-16 P-4 P-8
塩田 清二	P-44 P-45
柴田 晶美	P-6
島田ひろき	P-38
島津 伸也	P-51
島村英理子	P-38
城塚 康毅	P-59
<b>す</b>	
杉本 岳	P-37
鈴木 淳史	P-6
鈴木 一史	P-12
隅田 寛	P-39 P-47
角野 良紀	P-35
住吉 好雄	P-2
<b>せ</b>	
關 美沙	P-71
芹川 忠夫	P-26
芹沢光太郎	P-71
千賀 靖子	P-19
<b>そ</b>	
孫 祥ナン	P-25
<b>た</b>	
高桑 徹也	P-22

高嶋 博	P-23
高田 尚実	P-36
高野 知行	P-6
鷹野 正生	P-26
高信 健司	P-67
高萩 恭子	P-6
竹内 哲也	P-67
竹内 義博	P-6
竹下 暁子	P-7 P-9
武田 徹	P-20
竹森久美子	P-19
巽 純子	P-37
立石 大志	P-72
谷 栄之介	P-33
<b>ち</b>	
千原 和弘	S1-2
張 慶華	P-27
趙 蘭英	P-25
<b>つ</b>	
塚原 正俊	P-23
辻 菜穂	P-28
辻 美千子	P-11 P-12
土屋真衣子	P-21 P-20
堤 康央	P-55
角田 慎一	P-55
<b>て</b>	
寺尾 俊彦	P-2
寺本 昭二	P-24 P-29
照屋 盛実	P-23

<b>と</b>	
栃谷 史郎	P-48
<b>な</b>	
長尾 哲二	P-36 P-37 P-40 P-42
長岡 亮介	P-50
中澤 佑紀	P-12
中島 崇	P-22
中島 幸博	P-68 P-69 P-70
中島 裕司	S1-1
永田 伴子	P-44
永田 伴子	P-45
中務 秀嗣	P-9
中原 麻理	P-3
中村 友紀	P-42
中山友美子	P-12
名倉 知里	P-1
那須 昌弘	P-68 P-69 P-70
夏目 長門	P-1
奈良間 功	P-28
成富 研二	SL P-23
成瀬 一郎	P-35
成宮 正朗	P-6
<b>に</b>	
新川 詔夫	P-23
新美 照幸	P-1
西田 満	P-32
西田 瑞穂	P-40
西田 善郎	P-72

西島 信	S1-4
丹羽 仁史	TOP-2
<b>ね</b>	
鼠尾まい子	P-23
根岸 隆之	DNT
<b>は</b>	
橋本 龍樹	P-32 P-49 P-53
蓮尾 泰之	P-10
八田 稔久	P-27 P-38
花木紘太郎	P-74
馬場 祥行	P-11 P-12
浜之上はるか	P-2
早川 統子	P-1
林 安里	P-6
原 哲朗	P-39
飯開 順子	P-68 P-69 P-70
<b>ひ</b>	
東 伸明	P-38
東阪 和馬	P-55
樋口 敏浩	P-54
久森 美和	P-41
平澤 恭子	P-7
平野 隆	P-23
平野 隆城	P-23
平原 史樹	P-2
廣瀬あゆみ	P-22
<b>ふ</b>	
福井 章正	P-10

福井 徹	P-61
福井 義浩	P-46 P-48 P-74
福岡 裕樹	P-11 P-12
福里 利夫	P-39 P-47
福島 昭治	P-67
福島 亮	P-34
福永 慶隆	P-52
福西 克弘	P-74
福村加奈子	P-71
福本 恵三	P-15
藤井 咲子	P-31
藤森 一浩	P-23
藤山 総子	P-40
藤原久美子	P-1
藤原 道夫	WS-2 P-41 P-58
古川 博雄	P-1
古川 正敏	P-31
<b>ほ</b>	
北條 仁	P-24 P-29
星野 信人	P-33
堀江 宣行	P-54
堀本 政夫	WS-2
<b>ま</b>	
牧野 日和	P-1
真島 洋子	P-8
増澤 源造	P-3
町田 弘子	P-8
松浦 郁夫	P-33

松浦 哲郎	P-28
松浦 正男	P-31
松尾 成喜	P-58
松尾 拓哉	P-19
松岡 哲也	P-71
松本 暁洋	P-27 P-32 P-53
松山 隆史	P-72
眞弓 忠範	P-55
<b>み</b>	
水野 誠司	S2-2
溝口 靖基	P-71
三奈木隆史	P-59
南 克浩	P-1
南 康博	P-32
峰岸かつら	P-20
宮川 宗之	P-57
宮崎 智成	P-33
宮本 容子	P-42 P-40
三輪友希乃	P-23
<b>む</b>	
宗岡 篤信	P-47
村上 哲男	P-19
<b>も</b>	
茂木 和久	P-12
森 和彦	MS2-1
森 千里	P-36
守井 見奈	P-40
森田 育男	P-50
森山 啓司	P-11 P-12

や

安田 以久	P-47
安田 峯生	LS P-47 P-39
柳 久美子	P-23
矢野 修一	P-23
矢部 薫	P-31
山下 浩平	P-55
山下 隆博	P-13
山下 信義	P-60 P-72 P-74
山田 朱美	P-68
山田 源	TOP-1
山田 重人	P-20 P-21 P-22
山田真紀子	P-32 P-53
山中美智子	P-2
山根 律子	ES-3
山本 真悟	P-37
山本 大	P-33
山本 正仁	P-6

よ

横山 篤	P-63 P-64 P-65 P-66 P-62
吉井 啓介	P-9
吉浦孝一郎	P-23
吉岡 靖雄	P-55
吉川 友章	P-55
吉木 淳	PL P-28
吉田 徳幸	P-55

吉田 智子 P-42

吉田 龍二 P-68  
P-51

米山 明男 P-20

ろ

六川 潤美 P-31

わ

若井 千鶴 P-44

若松ひろみ P-39

涌生 ゆみ P-33

和田 肇 P-70

渡邊 敏明 P-61

# 日本先天異常学会学術集会

## 歴代会長名および開催地(予定を含む)

第1回	三谷 茂	昭和36年8月	東京都
第2回	馬場 為義	昭和37年8月	大阪市
第3回	村上 氏廣	昭和38年7月	名古屋市
第4回	森山 豊	昭和39年7月	東京都
第5回	西村 秀雄	昭和40年7月	京都市
第6回	三上 美樹	昭和41年7月	津市
第7回	林 一郎	昭和42年7月	長崎市
第8回	高津 忠夫	昭和43年7月	東京都
第9回	伊藤 鉄夫	昭和44年7月	京都市
第10回	高井 修道	昭和45年7月	横浜市
第11回	福山 幸夫	昭和46年7月	東京都
第12回	渡辺 巖一	昭和47年7月	新潟市
第13回	岡本 直正	昭和48年7月	広島市
第14回	鈴木 雅洲	昭和49年7月	仙台市
第15回	馬場 一雄	昭和50年7月	東京都
第16回	亀山 義郎	昭和51年7月	名古屋市
第17回	池田 高良	昭和52年7月	長崎市
第18回	須川 豊	昭和53年7月	横浜市
第19回	中尾 亨	昭和54年7月	札幌市
第20回	大浦 敏明	昭和55年7月	大阪市
第21回	藤本十四秋	昭和56年7月	熊本市
第22回	古谷 博	昭和57年7月	東京都
第23回	安田 峯生	昭和58年7月	広島市
第24回	丸毛 英二	昭和59年7月	東京都
第25回	谷村 孝	昭和60年7月	京都市
第26回	村地 俊二	昭和61年7月	名古屋市
第27回	有馬 正高	昭和62年7月	東京都
第28回	島田 司巳	昭和63年7月	京都市
第29回	遠藤 晃	平成元年7月	山形市
第30回	早川 國男	平成2年7月	宮崎市
第31回	田中 修	平成3年7月	出雲市
第32回	北川 照男	平成4年7月	東京都
第33回	三浦 隆行	平成5年7月	名古屋市
第34回	原 弘	平成6年7月	高知市
第35回	児島 忠雄	平成7年7月	東京都
第36回	藤本征一郎	平成8年7月	札幌市
第37回	塩田 浩平	平成9年7月	京都市
第38回	鈴森 薫	平成10年7月	名古屋市
第39回	宮田晃一郎	平成11年7月	鹿児島市
第40回	大谷 浩	平成12年7月	松江市
第41回	黒木 良和	平成13年7月	横浜市
第42回	筒井 祥博	平成14年7月	浜松市
第43回	上石 弘	平成15年7月	豊中市
第44回	宮原 晋一	平成16年7月	佐賀市
第45回	江藤 一洋	平成17年7月	東京都
第46回	萩野 利彦	平成18年6月	山形市
第47回	仙波 禮治	平成19年7月	名古屋市
第48回	佐藤 孝道	平成20年6月	東京都
第49回	大島洋次郎	平成21年6月	鹿児島市
次 期	福井 義浩	平成22年7月	兵庫県



The 49<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Teratology Society

# 協賛企業

第49回日本先天異常学会学術集会の運営に際しまして、下記の企業より貴重なご寄付および展示を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

### 寄付企業一覧(平成21年5月現在 五十音順)

---

味の素(株)	住友化学(株)
アステラス製薬(株)	千寿製薬(株)
アスピオファーマ(株)	第一三共(株)
エーザイ(株)	大正製薬(株)
(株) AVS	大日本住友製薬(株)
(株)大塚製薬工場	大鵬薬品工業(株)
小野薬品工業(株)	武田薬品工業(株)
(株)九電工	田辺三菱製薬(株)
協和発酵キリン(株)	中外製薬(株)
(株)ケー・エー・シー	日本イーライリリー(株)
参天製薬(株)	日本新薬(株)
(財)残留農薬研究所	日本たばこ産業(株)
CPC クリニック	バイエル薬品(株)
シェリング・プラウ(株)	(株)ボゾリサーチセンター
塩野義製薬(株)	三木産業(株) WIL Research
白尾建設	三菱化学メディエンス(株)
(株)新日本科学	横尾器械
(株)新日本科学臨床薬理研究所	

### 企業展示一覧(五十音順)

---

(株) AVS 福岡営業所  
安全性試験受託研究機関協議会(安研協)  
WIL Research Laboratories, LLC.  
(株)新日本科学  
日本クレア(株)  
(株)日本バイオリサーチセンター  
(株)ボゾリサーチセンター  
三菱化学メディエンス(株)

第49回日本先天異常学会学術集会  
会長 大島洋次郎

## 第49回日本先天異常学会学術集会

---

事務局：株式会社 新日本科学 安全性研究所  
〒891-1394 鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438  
TEL:099-294-2600 FAX:099-294-3619

制作：(株)セカンド  
 学会レポート 株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL:096-382-7793 FAX:096-386-2025



The Japanese Teratology Society